

令和元年度川崎市優良建築設計者を表彰しました

川崎市では、市内の建築物を設計した市内の設計者の中で、本市のまちづくりの推進に資する取組を行った方々の功績をたたえ、平成21年度から表彰を行っています。

新型コロナウイルス感染拡大のため、3月に予定していた表彰を延期していましたが、7月3日、下記設計者に対し、令和元年度の功績をたたえ、川崎市優良建築設計者として表彰を行いました。

1 被表彰者

設 計 者 名	被表彰の対象となった設計業務
明野設計室 一級建築士事務所 明野岳司 様 明野美佐子 様	宮前区にある住宅で、バリアフリーやゾーニング※に配慮し、内外装に木材を使用した建物の設計及び監理
株式会社 小川組 代表取締役 長澤靖 様	幸区にある共同住宅で、シンプルな構造フレームによる建物のフォルムの分節化、ライトアップ及び周辺に溶け込む色彩に配慮した建物の設計及び監理

※空間をテーマや用途に分けて考えることをいいます。



2 表彰理由 別紙のとおり

問合せ先：川崎市まちづくり局総務部庶務課 伊藤、鹿島
電話044-200-2943

明野設計室一級建築士事務所

本設計事務所は、平成 14 年に設立され、川崎市麻生区に所在しており、主に建築物の設計・設計監理を実施している。

今回の応募作品は、生産緑地に隣接する 3 世代の住宅であり、「陽が差し込む明るい家」、「木をふんだんに使った落ち着いた家」をコンセプトにバリアフリーやゾーニングに配慮し、内外装に木材を使用するなど、川崎市の施策である「誰もが暮らしやすい住宅・居住環境の整備」、「安全で安心して快適に暮らせる計画的なまちづくりの推進」に向けた取組として評価できる。



株式会社 小川組

本設計事務所は、昭和 21 年に設立され、川崎市川崎区榎町に所在しており、主に建築物の設計・監理を実施している。

今回の応募作品は、川崎駅西口に隣接する共同住宅であり、シンプルな構造フレームにより建物のフォルムを分節化し、夜間のエントランス部分のライトアップや周辺に溶け込む色彩など、川崎市の施策である「地域の主体的な街並みの推進」に向けた取組みとして評価できる。建物のフォルムを分節化し、夜間のエントランス部分のライトアップや周辺に溶け込む色彩など、川崎市の施策である「地域の主体的な街並みの推進」に向けた取組みとして評価できる。

